

日本の食の安全特別コース

Progress

日本の食の安全人材育成プログラムの現状と展望

平成30年度、日本の食の安全特別プログラムは、今秋に10期生を迎えます。アジア人財資金構想から始まった本プログラムは10年を迎えたことになりました。1期生と6期生から10期生の6年間は文部科学省から国費留学生5名枠を頂き、私費留学生も含め、中国、タイ、ベトナム、フィリピン、台湾、マレーシア、インドネシア、米国、ブラジル、メキシコなど約10カ国の留学生を受け入れ、その後、食品企業に輩出してきました。11期生からは再度国費留学生枠を獲得すべく文部科学省に申請する予定です。2期生から5期生までの間は、国費留学生はおらず、私費留学生のみでしたが企業等のご支援を得て、お陰様で就職率95%にて継続できています。一方で、学生の就職活動については、近年、ベトナム研修生を100名規模で受入れ予定の企業や留学生を率先して入社させる企業が見れるなど、ここきて求められる人材は大きく変化しています。

日本人学生は学校という教育の場で育ち、あまり社会を知りません。就職活動を通じて、大人になっていく姿を見ると少なからず、今の制度が人間形成に役立っているのではないかと感じています。一方、留学生は特定の技能が就職に密接に関係していることを体感しており、社会人としての成熟度は高いです。そういう観点からみても、本プログラムの10月からのコンソーシアム企業を中心とした学生の就活によるマッチングに期待したいです。

最後に、本プログラムを10年間、温かく支えて下さったコンソーシアム企業各社、賛助会員企業各社、経済産業局、香川県、社団法人日本冷凍食品協会、並びに故神内良一日本国際協力財団理事長等に、この場を借りて謝意を表したいと存じます。引き続き、ご支援ご指導のほどお願い申し上げます。

(田村教授)

Profile

新インターンシップ・就職支援担当の紹介



「はじめまして！」本年4月から日本の食の安全特別コースのインターンシップ・就職支援担当を前任の片山先生から引継ぎ、日々悪戦苦闘しております樋口俊彦です。ご挨拶が遅くなりました。

「オギヤ」香川県丸亀市に登場して早60年あまり・・・長年、冷凍食品産業に関わっていた縁もありまして、お手伝いをさせていただくことになりました。

昨今、残念なことに様々な食品の事故や事件をよく目にするようになり、「食品の安全安心」の重要性は日常生活でもより具体的に語られるようになりました。

「食の安全」は人類共有の永遠の課題であり、留学生の日本企業への就職支援はこの課題をお互いに見つめ直す絶好の機会だとも思っています。今後ともよろしくご協力をお願いいたします。

(樋口特命教授)

Profile

平成30年度入学の日本人学生の紹介（9期生）

ふもと くるみ

富山 卓 大阪府出身

最終学歴：香川大学農学部

応用生物科学科 生物生産科学コース卒業

所属：農学研究科応用生物・希少植物学専攻

川村研究室（食品衛生学）



Topics

協力企業でのインターンシップ（9期生）

留学生が在学期間中に参加する「企業訪問・研修」は実際の生産現場を実体験できる貴重な授業のひとつです。昨年10月に入学の9期生も日帰りの見学研修を10社でさせていただき、6月からは実際の生産現場でのインターンシップも3社にて行う予定です。また、9月卒業予定の8期生も修士論文の発表準備や就職活動に迫られるなか、入社前の一番重要なより具体的なインターンシップを終える予定です。

(樋口特命教授)

インターンシップ（見学研修）を終えて

私は昨年10月に入学した日本の食の安全特別コース9期生の姚明（ヨウメイ）です。このコースでは食品の研究だけではなく、プログラムに協力してくださっている食品会社等を見学したりします。私は日本の食品会社を実際に見たり、会社の社員の方々と交流したりして、いろいろな知識を身につけることができました。

個人的には食品の品質管理に興味を持っています。見学のおかげで、食品会社の品質管理が具体的にどうやってされているのかがとても勉強になりました。食品会社にとって、食の安全は最も大切なことのひとつです。でも少し前に、中国で食の安全に関する様々な事件が起こりました。中国の食品企業にも厳しい品質管理法がありますが、実際には守られていないのに対して、日本では規模の小さい食品会社でも、品質方針に従って、きちんと管理されています。例えば、仕入れ、生産、在庫管理、出荷（販売）の各段階においてデータベースを作成し、連携しています。中国の食品会社も具体的な品質管理のシステムを作ったら、食の安全事件はもっと少なくなると思います。



日本有数の食品会社を見学して、自分が気になっていたことを勉強していくことで、希望する就職ができるよう頑張りたいです。第9期生 姚明（中国）

News

10月入学予定者の渡日前日本語教育について

本コースでは、在学中の学業やインターンシップ、就職活動、就職後等を見据えて日本語能力伸長を重視しており、入試選考通過者には入学までに日本語能力試験N4相当以上に達すること、入学以降は修了要件として同N2合格以上を課しています。現在は、7月1日の日能試に向け、在学生（8・9期生）も今秋入学予定者（10期生）も学習に励んでいるところです。10期生に対しては、例年どおり渡日前の学習の進捗を把握すべく、試験終了頃をめどにインターネットを通じて遠隔面談を開始し、渡日までに各2〜3回の面談を通して必要な助言等を行っていく予定です。

(塩井日本語講師)

Review

アジア人財資金構想第3期生より

こんにちは。皆さん元気にお過ごしですか？ 私はプーと申します。タイ出身で、日本の食の安全特別コースの3期生です。

香川大学大学院修了後は日清食品株式会社に就職し、現在は製造課に所属しています。業務内容は工場でのカップ麺の製造、機械の修理・修繕です。食品業界は他社との競争も激しく非常に厳しい業界です。安全な食品を製造するためには異物混入や品質などに細心の注意を払わなければいけません。さらに、会社の利益、機械の改良なども考えていく必要があります。このような事を考えながら、日々仕事を頑張っています。

私から留学生のみなさんに伝えたい事があります。今、皆さんの生活はとても忙しいと思います。ですが、今振り返ると学生時代は一番楽しい時期でした。色々なイベントに参加し、新しい知識を得ることでライフバランスを保ち、学生時代を大切に過ごすことが重要だと思います。沢山勉強し、沢山遊ぶ事をお勧めします。



第3期生 ウォンウォーラバット グライセート（タイ）